

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010100		事業の種類	1	
年度	26	事務事業名	数量調整円滑化推進事業		予算事業名	数量調整円滑化推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	根津 恭平
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	農家					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生産者団体及び行政が一体となって行う生産調整推進活動を通じて水田営農の効率化を実現するとともに地域農業の産地を形成する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		コメ産地を調整し、転作作物を作付けすることにより地域農業の産地を形成する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	水稲作付面積	ha	223	221	220	216	
	転作実施面積	ha	232	232	222	230	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.740	0.748	101	0.828	111	0.756	91	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	6,022,696	6,067,206	101	6,773,877	112	6,174,162	91	
	事業費	270,657	228,587	84	206,247	90	196,000	95	
	合計	6,293,353	6,295,793	100	6,980,124	111	6,370,162	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	205,000	165,000	80	134,000	81	134,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,088,353	6,130,793	101	6,846,124	112	6,236,162	91	
合計	6,293,353	6,295,793	100	6,980,124	111	6,370,162	91		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水稲作付面積							
指標説明(式)		相生市における作付面積							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
ha	目標	226	223	98.7	218	97.8	216	99.1	
	実績	223	221	99.1	220	99.5			
指標名2		転作実施面積							
指標説明(式)		相生市における作付面積							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
ha	目標	220	230	104.5	218	94.8	230	105.5	
	実績	232	212	91.4	222	104.7			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

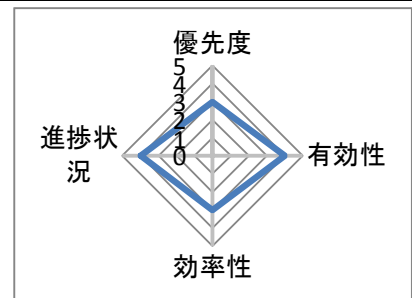
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	国から配分される米生産目標数値が前年度比で大きく減少したが、概ね目標に近い数値に至った。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	米の価格を維持するため国において農業者に作付け規制を行っており、相生市の農業振興としては多品目を選定する必要がある。	
効率性	コストの節減	国における減反政策であるので節減には限界がある。	3
	執行体制の効率性	営農知識のあるJA等、関係機関と連携し効率的に行っていく。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	営農知識のあるJA等、関係機関と連携し効率的に行っていく。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	営農知識のあるJA等、関係機関と連携し効率的に行っていく。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010200		事業の種類	5	
年度	26	事務事業名	夢ある農村づくり推進事業		予算事業名	夢ある農村づくり推進事業 優先度 4	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	宇野 智子
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		夢ある農村づくり推進事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家・集落					
	誰(何)を対象として	農家・集落					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市独自の水田農業を確立するため、特産品のPR経費等に対して助成を行う。また、集落の農地は集落が守る。を原則として集落営農組織育成のための活動に助成する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市独自の水田農業を確立するため、特産品及び農産物直売所のPR経費等及び集落営農組織の共同活動に対して補助を行う。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	産地づくり補助	団体	9	9	9	9	
	集落活性化補助	集落	2	2	2	2	
	イベント補助	集落	2	2	2	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.388	0.340	88	0.740	218	0.660	89	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	3,303,848	2,930,910	89	6,092,053	208	5,429,394	89	
	事業費	1,785,461	11,573,182	648	1,553,366	13	2,100,000	135	
	合計	5,089,309	14,504,092	285	7,645,419	53	7,529,394	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,089,309	14,504,092	285	7,645,419	53	7,529,394	98	
合計	5,089,309	14,504,092	285	7,645,419	53	7,529,394	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		産地づくり補助							
指標説明(式)		取り組み団体の促進							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
団体	目標	9	9	100.0	9	100.0	9	100.0	
	実績	9	9	100.0	9	100.0			
指標名2		集落活性化補助							
指標説明(式)		取り組み集落の促進							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
集落	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

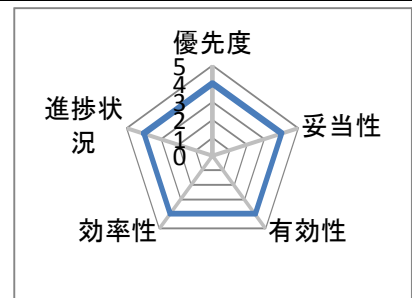
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	福井営農組合が法人化に向けた協議を開始したほか、西播磨フードセレクションで「ゆずみそ」がグランプリを取得し、特産品の生産拡大による6次産業化の推進機運が高まっている。	4
	市民サービス	集落活動や直売所、加工所への助成をすることによって、地域の活性化を促し市民へのサービス向上につながる。	
効率性	負担割合の適正化	集落活動や直売所、加工所の団体に対しては、法人化や地域間交流等を計画的に取り組んでいる集落や、担い手育成等に取り組んでいる団体に対して助成するほか、限額を設けて助成することで、負担割合の適正化を図っている。	4
	手段の最適性	現段階においては、各団体の発展を促すには必要な施策である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗していると考えている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	活動団体が小規模なため、団体間の連携を広げ、組織的・計画的に特産品開発等ができるよう図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	6次産業化・地産地消推進のための協議会を設け、組織的・計画的な特産品開発を図るほか、経営体質の強化のため、法人化の推進を図る。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010400	事業の種類	1
年度	26	事務事業名	農業金融制度利子補給事業	予算事業名	農業金融制度利子補給事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	建設農林部農林水産課	
施策名(中)		農林水産業の振興を図る	担当課長	竹本 頼高	担当者名
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家(認定農業者)			
	誰(何)を対象として	農家(認定農業者)			
	意図(どのような状態にしたいのか)	意欲ある農業者の安定経営を図ることを目的とする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		融資機関が農業者に貸し付けた資金について利子補給を行う。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	農業近代化資金	件	0	0	0	1
	農業経営基盤強化資金	件	1	1	2	3

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.044	0.044	100	0.060	136	0.060	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	646,792	655,558	101	823,413	126	774,594	94	
	事業費	7,160	5,992	84	9,347	156	130,000	1,391	
	合計	653,952	661,550	101	832,760	126	904,594	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	3,576		0		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	650,376	661,550	102	832,760	126	904,594	109	
合計	653,952	661,550	101	832,760	126	904,594	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家の利用件数							
指標説明(式)		借入件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	3	100.0	3	100.0	4	133.3	
	実績	1	1	100.0	2	200.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	農業施設の整備に伴う借入を行う農家が少ない。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	活用した農業者においては、運転資金として効果が見込まれる	
効率性	手段の最適性	効率的な農業経営を図るためには必要なことである。	4
	執行体制の効率性	県の随伴助成でもあり簡素化はできている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	利用者は少ないものの概ね計画通り進捗している。	4

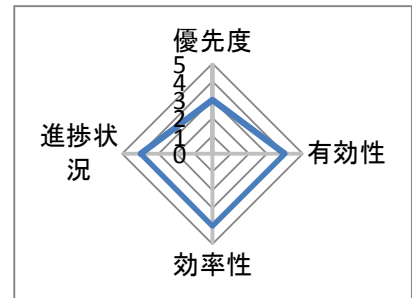
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	認定農業者が少なく、農業施設の整備の頻度が低く、利用者が少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	農家の経営規模の拡大を促し、設備投資しやすい対策が必要である。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010500	事業の種類	2
年度	26	事務事業名	上松農業共同作業所管理事業	予算事業名	上松農業共同作業所管理事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	建設農林部農林水産課	
施策名(中)		農林水産業の振興を図る	担当課長	竹本 頼高	担当者名 宇野 智子
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家			
	誰(何)を対象として	農家			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域の農業の振興に寄与し、独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者の利用に供する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域の農業の振興に寄与し、独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者の利用に供する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	乾燥調整量	袋	936	774	904	1,000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.024	0.024	100	0.020	83	0.020	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	492,312	501,818	102	513,493	102	464,274	90	
	事業費	0	2,540,500	-	78,600	3	300,000	382	
	合計	492,312	3,042,318	618	592,093	19	764,274	129	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	492,312	3,042,318	618	592,093	19	764,274	129	
合計	492,312	3,042,318	618	592,093	19	764,274	129		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		乾燥調整量							
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
袋	目標	1000	1000	100.0	1000	100.0	1000	100.0	
	実績	936	774	82.7	904	116.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

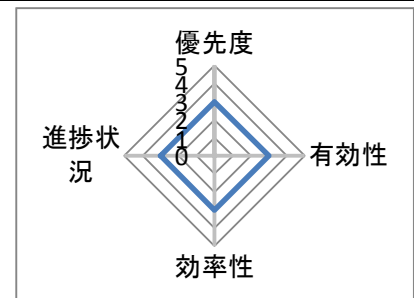
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者の利用に供するため、ブロックローテーションの加減で、年度ごとに安定的な利用となっていない。	3
	組織運営・適正管理	現状の施設規模の範囲内で、最大限の作業を行った。	
効率性	コストの節減	多くの利用を促すことで大きくコスト縮減ができるようになるが、施設の大きさによりもみ殻の保管ができないため利用には限度がある。	3
	執行体制の効率性	指定管理者制度により効率的に運営できている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	指定管理者と連携し、有効利用を促進する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	指定管理者と連携し、有効利用を促進する必要がある。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010600	事業の種類	6
年度	26	事務事業名	土地改良事業(市単独分)	予算事業名	土地改良事業(市単独分) 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 建設農林部農林水産課	
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		担当者名	長治 宏幸
実施計画事業名		その他農林水産(市単土地改良事業)		実施計画への記載	有
				主要事業の指定	無
				ため池(双子池)整備事業	
根拠法規及び関連法規		相生市土地改良事業分担金徴収条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	農地受益者			
	誰(何)を対象として	農業用施設			
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業用施設の維持、修繕、改修をする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業用施設の維持、修繕、改修をする。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	市単独土地改良工事	地区	16	15	14	15

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96
	参事以下職員	0.428	0.412	96	0.420	102	0.920	219
	臨時職員	0.000		-		-	0.080	-
支出内訳	人件費	3,612,808	3,484,374	96	3,612,693	104	7,655,674	212
	事業費	8,761,099	33,046,689	377	14,259,868	43	44,854,000	315
	合計	12,373,907	36,531,063	295	17,872,561	49	52,509,674	294
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-	5,485,320	-	16,233,500	296
	市債			-		-		-
	その他	1,518,300	1,866,984	123	2,185,020	117	3,970,000	182
	一般財源	10,855,607	34,664,079	319	10,202,221	29	32,306,174	317
合計	12,373,907	36,531,063	295	17,872,561	49	52,509,674	294	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事の実施率							
指標説明(式)		工事実施件数÷工事計画件数×100							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

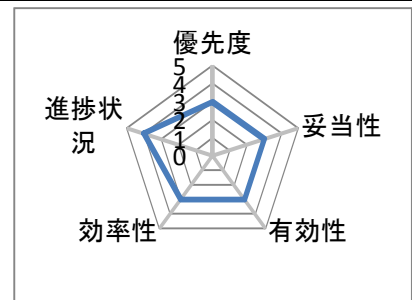
指標名1		年度内予算執行額							
指標説明(式)		年度内予算執行額÷年度内予算額×100							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	97.0	94.3	97.2	88.0	93.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	農業用施設の機能回復する。	3
効率性	コストの節減	見積合せ及び一般競争入札により削減が図られている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	老朽化している農業用施設が増えてきている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	緊急性・優先性	限られた予算の中で、緊急性や重要性を考慮し、実施していく。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010700		事業の種類	7	
年度	26	事務事業名	土地改良事業(県施工分)		予算事業名	土地改良事業(県施工分) 優先度	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	長治 宏幸
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		ため池(那波野岩屋谷池)整備事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農地受益者					
	誰(何)を対象として	農業用施設改修による負担金					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業用施設の改修を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		県施行事業					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	県施行事業	事業	2	1	1	0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.612	0.612	100	0.620	101	0.200	32	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	5,034,024	5,021,774	100	5,162,293	103	1,860,714	36	
	事業費	16,140,426	6,899,031	43	7,371,281	107	107,000	1	
	合計	21,174,450	11,920,805	56	12,533,574	105	1,967,714	16	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,222,525	566,800	46	67,000	12		0	
	市債			-		-		-	
	その他	2,683,170	199,920	7		0		-	
	一般財源	17,268,755	11,154,085	65	12,466,574	112	1,967,714	16	
合計	21,174,450	11,920,805	56	12,533,574	105	1,967,714	16		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事の実施件数							
指標説明(式)		工事の実施件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	2	1	50.0	1	100.0	0	0.0	
	実績	2	1	50.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	事業の完了により取水能力が良くなる。	4
効率性	負担割合の適正化	補助事業のため見直しはしない。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

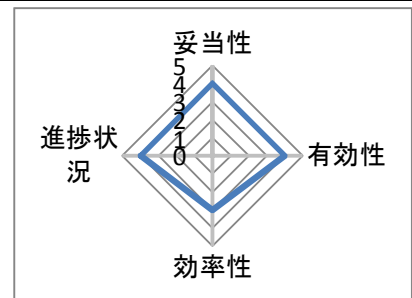
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	緊急性・優先性	平成26年度で県営事業が完了し、平成27年度以降の計画がない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	緊急性・優先性	災害等からの市民の安全を確保するため、補助事業で実施すべき箇所の選定及び要望を行う。



配点	32.5
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201011000	事業の種類	3	
年度	26	事務事業名	農業総務費事務経費	予算事業名	農業総務費事務経費 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課	
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		担当者名	根津 恭平	
		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家				
	誰(何)を対象として	農家				
	意図(どのような状態にしたいのか)	農家が安心して生活できるよう農業者団体の会員として活動すると共に、各部落農会長と連携し、適切な農業行政を展開する。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		農家が安心して耕作できるよう各種連携を行い、適切な農業行政を展開する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	農家戸数	戸	963	964	961	965

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.104	0.112	108	0.212	189	0.192	91	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,110,232	1,178,274	106	2,001,109	170	1,798,650	90	
	事業費	5,816,680	5,766,000	99	8,047,720	140	5,896,000	73	
	合計	6,926,912	6,944,274	100	10,048,829	145	7,694,650	77	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,926,912	6,944,274	100	10,048,829	145	7,694,650	77	
合計	6,926,912	6,944,274	100	10,048,829	145	7,694,650	77		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家戸数							
指標説明(式)		農家戸数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	980	970	99.0	965	99.5	965	100.0	
	実績	963	964	100.1	961	99.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	農業行政情報を各農会への適時提供できるよう業務に当たることができた。	4
	組織運営・適正管理	スムーズな農業行政が図れるよう各種団体と連絡を密にし、業務に当たっている。	
効率性	コストの節減	農会長に集落の農地管理を任せており、年々業務が増える中、コスト増にならないよう行った。	4
	執行体制の効率性	関係機関との連絡体制を強化していく。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

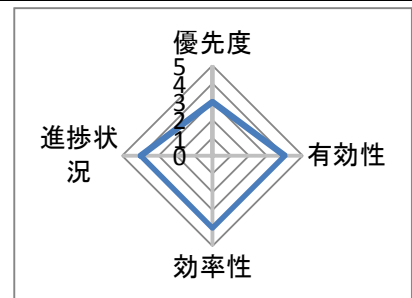
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	農会長への負担が増える中、コスト増にならないようにしていく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	関係機関との連携体制を強化していく



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201011200		事業の種類	1		
年度	26	事務事業名	農業振興等奨励事業		予算事業名	農業振興等奨励事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	竹本 頼高	担当者名	根津 恭平
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家						
	誰(何)を対象として	農家						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経営所得安定対策の推進等のための事務費						

2 事業の概要 Do

実施の概要		経営所得安定対策の推進等のための事務費					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	経営所得安定対策加入者	戸	538	490	495	500	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.284	0.274	96	0.192	70	0.192	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	2,500,552	2,423,568	97	1,846,149	76	1,798,650	97	
	事業費	1,865,000	1,865,000	100	1,865,000	100	1,865,000	100	
	合計	4,365,552	4,288,568	98	3,711,149	87	3,663,650	99	
財源内訳	国庫支出金	1,865,000	1,865,000	100	1,865,000	100	1,865,000	100	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,500,552	2,423,568	97	1,846,149	76	1,798,650	97	
合計	4,365,552	4,288,568	98	3,711,149	87	3,663,650	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		経営所得安定対策加入者							
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	600	550	91.7	500	90.9	500	100.0	
	実績	538	490	91.1	495	101.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

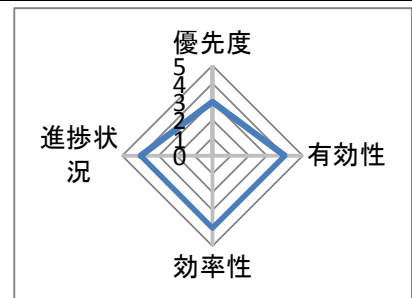
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	農業経営を安定するため作付けに応じた交付を行えた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	自給率向上のため作付けに応じた交付を行えた。	
効率性	手段の最適性	農業経営を安定させるため経営所得安定対策を法令等に基づき運用を行った。	4
	執行体制の効率性	経営所得安定対策を円滑に運営するためJA、農業委員会、県と連携を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	経営所得安定対策を円滑に運営するため、JA、農業委員会、県と更なる連携が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	経営所得安定対策を円滑に運営するため、JA、農業委員会、県と更なる連携が必要である。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201011300	事業の種類	5
年度	26	事務事業名	中山間地域等直接支払事業	予算事業名	中山間地域等直接支払事業 優先度 4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		担当者名	宇野 智子
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規		中山間地域直接支払事業補助要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家			
	誰(何)を対象として	農家			
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業生産条件の不利な棚田の保全のため、補助を行う。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		国・県の補助金を利用し、補助事業を実施することにより、地域農業の振興を図る				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	事業実施集落	地区	7	7	7	7

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.416	0.432	104	0.184	43	0.224	122	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	3,520,120	3,638,114	103	1,784,165	49	2,046,906	115	
	事業費	3,404,265	3,416,284	100	3,419,082	100	3,421,000	100	
	合計	6,924,385	7,054,398	102	5,203,247	74	5,467,906	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	2,516,163		0	2,418,129	-		0	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,408,222	7,054,398	160	2,785,118	39	5,467,906	196	
合計	6,924,385	7,054,398	102	5,203,247	74	5,467,906	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		集落協定参加割合							
指標説明(式)		集落協定参加者(62名)÷全農家数(1,014件)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	6.4	7	109.4	7	100.0	7	100.0	
	実績	7	7	100.0	6.1	87.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

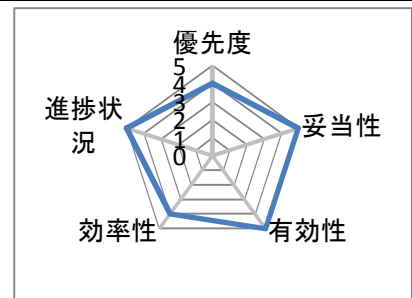
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	集落協定参加者で共同取り組みを行うことで、一定の成果が得られた。	5
	市民サービス	山際の農地を管理することで集落内の環境保全が守られた。	
効率性	負担割合の適正化	各地域において中山間地域直接支払事業対象農地のうち必要最低限の農地について国の制度を活用している。	4
	手段の最適性	集落の農地を守るため集落で協定を結び保全活動を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	高齢化により、農地を管理することが負担になっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	補助金を有効に活用し、活動の継続を促す。

配点	32.5
総合評価	29.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020100	事業の種類	3
年度	26	事務事業名	水産業振興費事務経費	予算事業名	水産業振興費事務経費 優先度 2
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		担当者名	宇野 智子
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者			
	誰(何)を対象として	漁業者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	漁業者数	人	51	50	51	55

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.036	0.036	100	0.024	67	0.028	117	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	585,000	594,062	102	544,485	92	526,338	97	
	事業費	231,560	120,000	52	168,000	140	151,000	90	
	合計	816,560	714,062	87	712,485	100	677,338	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	816,560	714,062	87	712,485	100	677,338	95	
合計	816,560	714,062	87	712,485	100	677,338	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		漁協経営体数							
指標説明(式)		漁協経営体数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	25	25	100.0	24	96.0	25	104.2	
	実績	24	24	100.0	25	104.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者が安心して生活できるよう漁業近代化資金借入ができるよう漁業信用基金協会に出資し適正な漁業行政を展開することで漁業者数を維持する。	4
	組織運営・適正管理	相生漁協と連携し、漁業行政を推進することができた。	
効率性	コストの節減	漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開することで漁業者数を維持する。	3
	執行体制の効率性	相生漁協と連携し、漁業行政を推進することができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

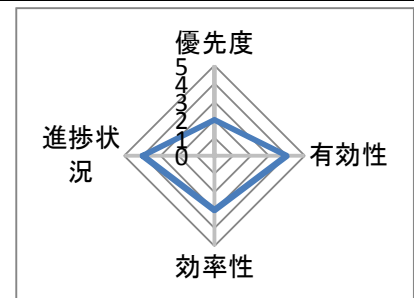
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	市からの出資の有無の検討が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	出資金の廃止



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020200		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	水産業振興事業		予算事業名	水産業振興事業	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	根津 恭平
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者の安定経営を目的とする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生カキのノロウイルス等の検査をすることによって安心・安全をPRすることで販売促進を行う。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	検査	回	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.044	0.044	100	0.024	55	0.028	117	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	646,792	655,558	101	544,485	83	526,338	97	
	事業費	500,000	5,800,000	1,160	9,600,000	166	500,000	5	
	合計	1,146,792	6,455,558	563	10,144,485	157	1,026,338	10	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,146,792	6,455,558	563	10,144,485	157	1,026,338	10	
合計	1,146,792	6,455,558	563	10,144,485	157	1,026,338	10		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ノロウイルス等検査							
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

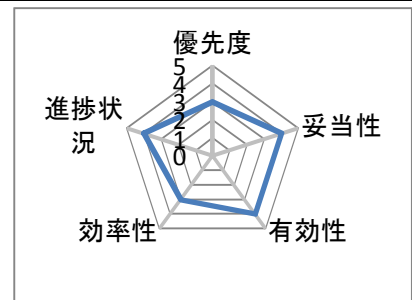
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	観光協会と連携してかきマップを作成し、PRに努め、成果は上がっている。	4
	市民サービス	相生カキを安心して購入できるよう行った。	
効率性	コストの節減	販売金額が増えることによって市の負担は減額する方向で検討する必要がある。	3
	手段の最適性	生産は上がってきているので自助努力を促す必要がある	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	相生カキのブランド化は進んでおり、市の負担の減額が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	相生カキの普及は進んでいるため、相生漁協と更なる発展のため、連携を図る必要がある。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020300		事業の種類	3	
年度	26	事務事業名	漁船保険補助事業		予算事業名	漁船保険補助事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	根津 恭平
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		漁船損害等補償法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁船につき不慮の事故による損害の復旧を容易にすることで、漁業経営の安定経営を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者の安定経営を図るため漁船保険に対する補助を行う					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	漁船保険加入者	隻	90	90	95	95	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.044	0.044	100	0.024	55	0.028	117	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	646,792	655,558	101	544,485	83	526,338	97	
	事業費	1,827,653	1,849,982	101	1,922,571	104	1,975,000	103	
	合計	2,474,445	2,505,540	101	2,467,056	98	2,501,338	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,474,445	2,505,540	101	2,467,056	98	2,501,338	101	
合計	2,474,445	2,505,540	101	2,467,056	98	2,501,338	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		一隻当たりの利子補給額							
指標説明(式)		利子補給額/隻							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	20000	20000	100.0	20000	100.0	20000	100.0	
	実績	20307	20555	101.2	20237	98.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者の安定経営を図っており成果としては概ね達成している。	4
	組織運営・適正管理	相生漁協が取りまとめ加入しているため適正に管理されている	
効率性	コストの節減	漁業者の安定経営を図るため必要であるため節減はできない。	4
	執行体制の効率性	漁業者の安定経営を図るため相生漁協と連携して取り組む。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

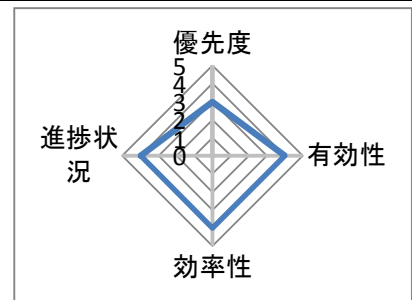
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	年々事故が増えており、利用の促進を図る必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	相生漁業と連携を図り、利用の促進を図る。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040201020400		事業の種類		3	
年度	26	事務事業名	漁業近代化資金利子補給事業	予算事業名	漁業近代化資金利子補給事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	根津 恭平
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		漁業近代化資金融通法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者に低金利の同制度を活用することで、漁業者の資本装備の高度化及び経営の近代化を促進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者の安定経営を図るため漁業者が借り入れた資金に対して利子補給を行う					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	利子補給件数	人	7	6	7	7	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.044	0.044	100	0.024	55	0.028	117	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	646,792	655,558	101	544,485	83	526,338	97	
	事業費	200,358	345,169	172	720,529	209	1,185,000	164	
	合計	847,150	1,000,727	118	1,265,014	126	1,711,338	135	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	847,150	1,000,727	118	1,265,014	126	1,711,338	135	
合計	847,150	1,000,727	118	1,265,014	126	1,711,338	135		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利子補給利用率							
指標説明(式)		利子補給利用者/漁業者(51名)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	15	15	100.0	15	100.0	15	100.0	
	実績	12	11	91.7	14	127.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

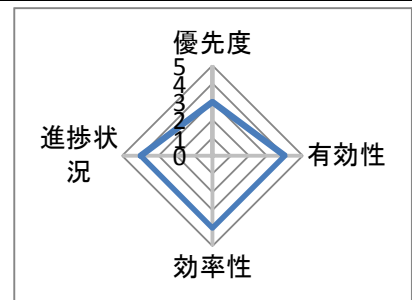
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業の活性化を図るため利子補給をすることで漁業者の経営を安定することができた。	4
	組織運営・適正管理	兵庫県信漁連と連携し漁業者の経営を安定することができた。	
効率性	コストの節減	漁業者の安定経営を図るため必要でありコストの削減はできない。	4
	執行体制の効率性	漁業者の経営を安定するため相生漁協及び兵庫県信漁連と連携を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	漁業者の設備投資に対する負担軽減として、利子補給することは漁業経営の安定を図るためには必要なことである。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	漁業者の経営を安定させるため更なる連携を相生漁協及び兵庫県信漁連と図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020500		事業の種類	3		
年度	26	事務事業名	水産物市場管理事業		予算事業名	水産物市場管理事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	宇野 智子	
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		水産物市場整備事業						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生湾臨海部及び相生地区の活性化を図り、相生力キの振興及び近海の漁業の活性化を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		水産物市場の運営をするに当たって建物の所有者として、建物及び付帯設備の修繕に対応し、指定管理者が円滑に運営できるようにする。						
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画		
	修繕件数	件	5	3	7	5		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.084	0.084	100	0.064	76	0.068	106	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	955,752	963,038	101	854,405	89	836,658	98	
	事業費	3,583,230	954,450	27	2,712,811	284	4,200,000	155	
	合計	4,538,982	1,917,488	42	3,567,216	186	5,036,658	141	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	600,000	600,000	100		0		-	
	一般財源	3,938,982	1,317,488	33	3,567,216	271	5,036,658	141	
合計	4,538,982	1,917,488	42	3,567,216	186	5,036,658	141		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		修繕件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	4	5	125.0	5	100.0		0.0	
	実績	5	3	60.0		0.0			
指標名2		観光客数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50000	50000	100.0	53000	106.0	56000	105.7	
	実績	50032	52297	104.5	55146	105.4			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者は増加している。	4
	組織運営・適正管理	指定管理者と連携し、相生力キの普及を行う。	
効率性	コストの節減	委託料の支払いはない。	4
	執行体制の効率性	指定管理者と連携し、効率的に事業を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

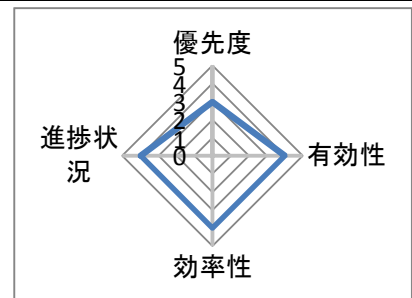
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設の維持修繕費が増加しているため、計画的な執行を指定管理者と協議する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設の維持修繕費が増加しているため、計画的な執行を指定管理者と協議する必要がある。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040201020600		事業の種類		3	
年度	26	事務事業名	漁業緊急保証対策資金事業	予算事業名	漁業緊急保証対策資金事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	根津 恭平
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁獲金額(販売金額)が大きく減少し、資金繰りに窮している漁業者に対する融資の利子補給をすることにより漁業経営の安定化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁獲金額(販売金額)が大きく減少し、資金繰りに窮している漁業者が緊急的に借入した資金に対して、他の資金融資制度との利率の差額分を利子補給として行う。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	利子補給件数	人	6	6	5	5	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.044	0.044	100	0.024	55	0.028	117	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	646,792	655,558	101	544,485	83	526,338	97	
	事業費	115,209	60,822	53	25,842	42	32,000	124	
	合計	762,001	716,380	94	570,327	80	558,338	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	762,001	716,380	94	570,327	80	558,338	98	
合計	762,001	716,380	94	570,327	80	558,338	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利子補給利用率							
指標説明(式)		利子補給利用者/漁業者(51名)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	12	11	91.7	11	100.0	10	90.9	
	実績	11	11	100.0	10	90.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

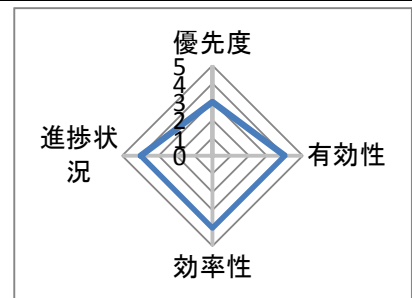
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利子補給することで漁業者の経営安定を図ることができた。	4
	組織運営・適正管理	兵庫県信漁連と連携し漁業者の経営安定を図ることができた。	
効率性	コストの節減	漁業者の経営安定のための手段として有効であるためコストの節減はできない。	4
	執行体制の効率性	漁業者の経営安定を図るため相生漁協と兵庫県信漁連と連携を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	漁業者の経営安定を図ることができたが、一時的対応のため事業主が災害保険の加入などの対応が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	事業主が災害保険の加入などを促すため相生漁協と更なる連携を行う。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201030100		事業の種類	5		
年度	26	事務事業名	林業振興事業		予算事業名	林業振興事業		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	竹本 頼高	担当者名	長治 宏幸
取組み事項		林業の振興を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	林業教室受講者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	林業製品の加工技術の取得						

2 事業の概要 Do

実施の概要		林業教室の補助金					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	補助金	団体	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.304	0.404	133	0.424	105	0.404	95	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	2,655,032	3,422,878	129	3,643,685	106	3,443,346	95	
	事業費	442,690	430,000	97	483,970	113	594,000	123	
	合計	3,097,722	3,852,878	124	4,127,655	107	4,037,346	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,097,722	3,852,878	124	4,127,655	107	4,037,346	98	
合計	3,097,722	3,852,878	124	4,127,655	107	4,037,346	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		林業教室の開催割合							
指標説明(式)		年間開催実績回数 ÷ 年間予定回数(60) × 100							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

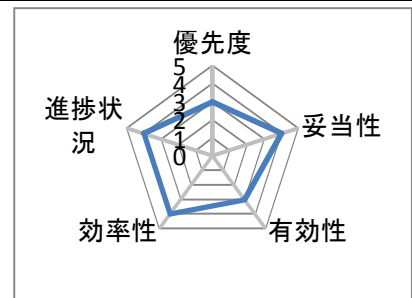
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目標以上の達成をしている。	3
	市民サービス	参加者が固定化しつつある。	
効率性	負担割合の適正化	補助対象回数以上の教室開催を行っている。 (補助対象回数 60回 教室開催回数 96回)	4
	手段の最適性	林産物の活用及び地域産業の伝承と、その後継者育成のためには、有効な手段である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	林産物の活用及び地域産業の伝承と、その後継者育成を目的としているが、参加者の人数が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	参加者の増に努める。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201040100		事業の種類	2		
年度	26	事務事業名	ふれあい公園管理事業		予算事業名	ふれあい公園管理事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	竹本 頼高	担当者名	長治 宏幸
取組み事項		交流拠点の活用とネットワーク化を促進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	公園内の清掃及び除草						

2 事業の概要 Do

実施の概要		若狭野ふれあい公園の清掃、除草委託					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	園内清掃除草	件	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.104	0.052	50	0.020	38	0.020	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,110,232	717,054	65	513,493	72	464,274	90	
	事業費	778,692	7,983,768	1,025	655,640	8	691,000	105	
	合計	1,888,924	8,700,822	461	1,169,133	13	1,155,274	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	50,207	55,789	111	0	0	0	-	
	一般財源	1,838,717	8,645,033	470	1,169,133	14	1,155,274	99	
合計	1,888,924	8,700,822	461	1,169,133	13	1,155,274	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		委託件数							
指標説明(式)		委託件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	公園整備、管理により一層の利活用が図られる。	4
	組織運営・適正管理	地元に委託し、管理することにより地元住民も地元の公園であるという意識が醸成され、公園利用に関しても関心が持てる。	
効率性	コストの節減	地元に清掃等を委託することにより、コスト縮減となっている。	3
	執行体制の効率性	十分効率的に行なわれている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

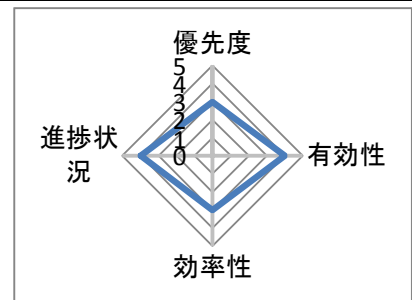
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	関係自治会により管理運営が行われているため、適切に管理されているが、利用者が固定化している。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	県民交流ハウスや厨房棟があるため、施設を有効に活用する必要がある。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010300		事業の種類	1	
年度	26	事務事業名	商工業対策事業		予算事業名	商工業対策事業	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名	藤岡 周平
取組み事項	魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	県下の特産商工業者					
	誰(何)を対象として	兵庫県物産協会が行う特産商工業振興事業					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域産業を振興することにより、活力ある豊かな地域経済を形成し、県民の生活向上を実現する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		兵庫県物産協会の運営に対し、県下市町が負担金を支出することにより運営に共同参画する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	兵庫県物産協会負担金	円	26000	26000	26000	25000

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.020	0.016	80	0.040	250	0.044	110	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	461,416	440,322	95	668,453	152	650,466	97	
	事業費	26,000	30,560	118	33,340	109	36,000	108	
	合計	487,416	470,882	97	701,793	149	686,466	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	487,416	470,882	97	701,793	149	686,466	98	
合計	487,416	470,882	97	701,793	149	686,466	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県物産協会販売状況							
指標説明(式)		ひょうごふるさと館内に設置しているイベントコーナー3か所での販売日数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
点	目標	1000	1000	100.0	1000	100.0	1000	100.0	
	実績	1162	1104	95.0	1089	98.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		製造品出荷額における県内ウエイト							
指標説明(式)		兵庫県物産協会年度会費積算基礎							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	4.0	4.0	100.0	4.0	100.0	3.5	87.5	
	実績	3.5	3.5	100.0	2.9	82.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市町・各種団体・企業等が協働で行うスケールメリットを活かし、県下はもとより広く全国に兵庫県の物産を宣伝紹介するとともに、販売促進及び販路拡事業に取り組み、特産商工業の振興発展に寄与している。	3
効率性	負担割合の適正化	財政規模に応じた負担となっている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各市町、財政規模に応じた負担となっている。	3

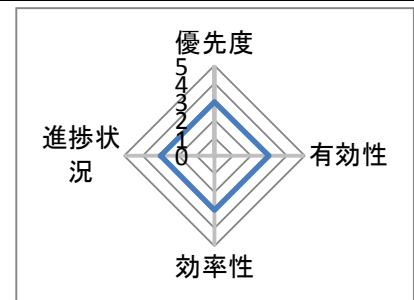
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	負担金は、財政規模に応じて低く抑えられており、一定の負担は、仕方がない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	協会の活動を理解し、関係性を強めていくことが重要である。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010400	事業の種類	3
年度	26	事務事業名	地場産業振興センター事業	予算事業名	地場産業振興センター事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		担当者名	藤岡 周平
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	西播磨の地場産業関連企業			
	誰(何)を対象として	(公財)姫路・西はりま地場産業センター			
	意図(どのような状態にしたいのか)	西播磨の地場産業の健全な育成及び発展に貢献し、活力ある地域経済社会の形成、地域住民の生活向上及び福祉の増大に寄与すること。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		西播磨の地場産業者等に対する支援機関である姫路・西はりま地場産業センターの運営に対し、姫路市を中心に関係市町が負担金を支出することにより支援を行う。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	地場産業振興センター事業負担金	円	282000	282000	281000	281000

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.020	0.012	60	0.024	200	0.028	117	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	461,416	409,574	89	544,485	133	526,338	97	
	事業費	282,000	282,000	100	281,000	100	281,000	100	
	合計	743,416	691,574	93	825,485	119	807,338	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	743,416	691,574	93	825,485	119	807,338	98	
合計	743,416	691,574	93	825,485	119	807,338	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		特産品販売所播産館の売上							
指標説明(式)		売上高(千円)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	50000	50000	100.0	50000	100.0		0.0	
	実績	53531		0.0		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	中・西播磨の特産品をPRしており、それぞれの地域に与える影響や売上額、誘客にもつながっている。また、販売実績等もある程度確保しており、目的は達成している。	3
	期待する目標		
効率性	手段の最適性	平成23年度より分担割合を見直し、コストの削減が図られた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	人口比率による応分負担である。	3

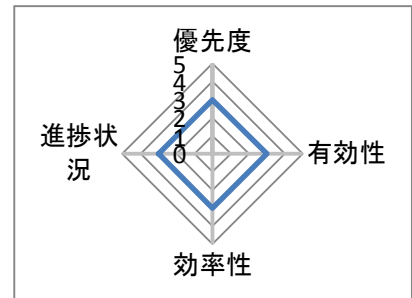
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市内物産品の販売額が、大変少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	均等割りの比率の見直しを働きかけていく。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010500		事業の種類	5	
年度	26	事務事業名	商業共同施設補助事業		予算事業名		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市共同施設補助金交付規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内商店街組織					
	誰(何)を対象として	商店街共同施設					
	意図(どのような状態にしたいのか)	商業の活性化					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の商業者が組織する団体で共同施設(街路灯、カラー舗装、アーケード等)を設置する者に対し、設置に対する費用を補助し、商業振興を図る。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
			0	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.020	0.012	60	0.008	67	0.012	150	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	461,416	409,574	89	420,517	103	402,210	96	
	事業費			-		-		-	
	合計	461,416	409,574	89	420,517	103	402,210	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	461,416	409,574	89	420,517	103	402,210	96	
	合計	461,416	409,574	89	420,517	103	402,210	96	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

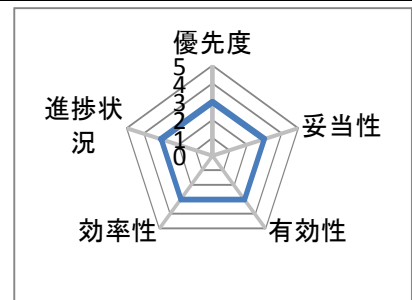
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	商店街のハード面の整備に支援を行うことは、商店街の活性化を図るのに有効である。	3
効率性	負担割合の適正化	補助率(補助対象経費の1/3以内、限度額2,000万円)は適正と考える。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	県の随伴事業であり、26年度は申請が無かった。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	商店街は、人の流れにより徐々に形成されてきたもので、人の流れが少なくなったいま、現体制を維持することも難しい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	街路灯としての役目を担っているので、事業を継続していく。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010700	事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	商店街空店舗等活用事業	予算事業名	商店街空店舗等活用事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 市民生活部地域振興課		
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文	
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		担当者名	桑名 雅彦	
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市商店街空き店舗等活用事業補助金交付要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の事業者				
	誰(何)を対象として	新規に市内商店街の空店舗で事業をされる事業者				
	意図(どのような状態にしたいのか)	3年間にわたり家賃の補助をすることで、新規に商店街空店舗で開業していただき、空店舗の増える商店街の活気を取り戻す。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内の商店街の振興を図るため、当該商店街が形成されている地域で空き店舗を借り上げ、出店する経費に対し予算の範囲内において補助金を交付する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	補助金受領者数(新規)	店	2	3	1	2
	出店維持数	店	12	14	15	17

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.028	0.048	171	0.048	100	0.076	158	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	523,208	686,306	131	730,437	106	898,722	123	
	事業費	1,507,000	1,167,000	77	1,079,000	92	1,577,000	146	
	合計	2,030,208	1,853,306	91	1,809,437	98	2,475,722	137	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,030,208	1,853,306	91	1,809,437	98	2,475,722	137	
合計	2,030,208	1,853,306	91	1,809,437	98	2,475,722	137		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規出店数							
指標説明(式)		数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
店	目標	1	1	100.0	2	200.0	2	100.0	
	実績	2	3	150.0	1	33.3			
指標名2		補助店舗の営業継続率							
指標説明(式)		営業継続店舗数÷補助需給店舗×100							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	84.6	86.6	102.4	84	97.0	84	100.0	
	実績	85.7	82.4	96.1	83.3	101.1			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	多額の資金を要する開業時に家賃を補助することで、開業意欲につなげる事ができた。	4
	市民サービス	商店街の周辺には住宅があり、商店街の活性化は、市民生活に大きく影響する。商店街の存続は、特に車に乗らない高齢者にとってサービスに直結するものがある。	
効率性	コストの節減	今後、補助率及び補助期間の見直しを図る必要がある。	4
	手段の最適性	空店舗対策について抜本的な対策がない中、空店舗を喰い止める手段としては最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	1件の新規利用者があった。	3

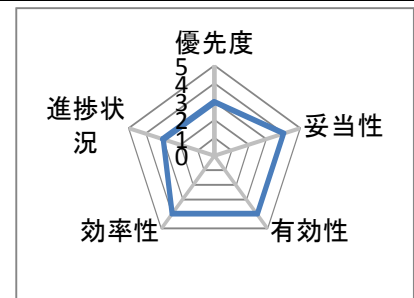
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	商店街では住宅と併設されてい店舗が多いため、私有者が敬遠する傾向がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	空き店舗の解消には改修費用も検討しなければならない。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010800	事業の種類	5
年度	26	事務事業名	まちな駅推進事業	予算事業名	まちな駅推進事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		担当者名	桑名 雅彦
実施計画事業名				実施計画への記載	無
根拠法規及び関連法規				主要事業の指定	無
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域住民や、来訪者が求める地域の情報を提供する機能を備え、人と人の出会いと交流を促進する空間施設です。また、まちづくりの拠点となり、まちとまちをつなぐ役割を有する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	加盟数	店	19	20	20	20

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96
	参事以下職員	0.044	0.064	145	0.032	50	0.080	250
	臨時職員	0.000		-		-		-
支出内訳	人件費	646,792	809,298	125	606,469	75	929,754	153
	事業費	445,200	300,000	67	300,000	100	300,000	100
	合計	1,091,992	1,109,298	102	906,469	82	1,229,754	136
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	1,091,992	1,109,298	102	906,469	82	1,229,754	136
合計	1,091,992	1,109,298	102	906,469	82	1,229,754	136	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		まちな駅加盟店数							
指標説明(式)		まちづくりの拠点となるまちな駅加盟店舗数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
店	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	19	20	105.3	20	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

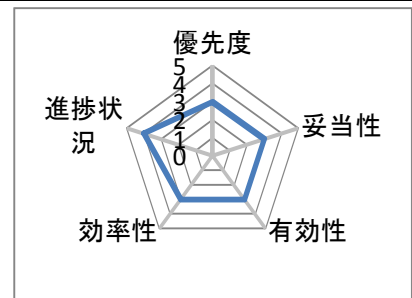
指標名1		小学校区あたりのまちの駅設置率							
指標説明(式)		まちの駅の数/小学校区の数7							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
店	目標	2.85	2.85	100.0	2.85	100.0	2.85	100.0	
	実績	2.71	2.85	105.2	2.85	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	まちの駅を利用し、人との出会いの場となるよう努めた。	3
効率性	手段の最適性	まちの駅間でネットワーク化し、お互いの情報交換をする場、手段を構築するように努めた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各駅同士のネットワークを構築する「まちの駅ネットワーク相生協議会」を定期的に開催した。(年3回) また、駅長の代表による幹事会を組織した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	会議の日程調整に苦慮する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	多くの駅長に会議に参加していただき、情報交換とネPRに努める。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202020100		事業の種類	5	
年度	26	事務事業名	商工会議所振興事業		予算事業名	商工会議所振興事業	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名	桑名 雅彦
取組み事項	商業者による経営革新的な取り組みを支援する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の商工業者					
	誰(何)を対象として	市内商工業者の経営を円滑に行うために、					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内商工業に円滑な経営の補助活動を行う商工会議所の運営に対し補助を行うことで、市内経済の安定・発展に努める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		商工会議所会費及び特定商工業者負担金の合計額(24,000千円)の10%を目安に算出し、商工会議所に補助をする。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	会員数(個人)	件	353	351			
	会員数(法人)	件	361	361			

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96
	参事以下職員	0.020	0.024	120	0.044	183	0.052	118
	臨時職員	0.000		-		-		-
支出内訳	人件費	461,416	501,818	109	699,445	139	712,530	102
	事業費	6,385,000	6,385,000	100	6,385,000	100	6,385,000	100
	合計	6,846,416	6,886,818	101	7,084,445	103	7,097,530	100
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	6,846,416	6,886,818	101	7,084,445	103	7,097,530	100
合計	6,846,416	6,886,818	101	7,084,445	103	7,097,530	100	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		会員数(個人)							
指標説明(式)		件							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	370	370	100.0	370	100.0	370	100.0	
	実績	353	351	99.4	352	100.3			
指標名2		会員数(法人)							
指標説明(式)		件							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	370	370	100.0	370	100.0	370	100.0	
	実績	361	361	100.0	357	98.9			

【効率性】

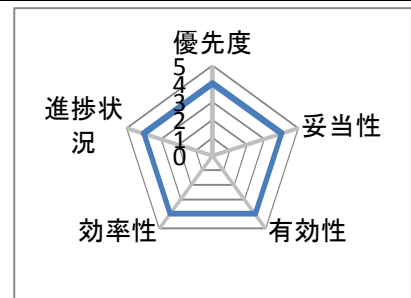
指標名1		会員あたりの補助金額							
指標説明(式)		補助金額/会員数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	8628	8628	100.0	8628	100.0	8628	100.0	
	実績	8942	8967	100.3	9043	100.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	景気低迷が長期に亘る状況下にあって、これを克服すべく様々な事業に取り組んでいる。	4
効率性	手段の最適性	市内商工事業の状況及び支援方法に精通する、商工会議所を通じて支援を行うことが最も適していると認める。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	厳しい経済状況を反映し、会員数は微減を続けているが、商工業者支援の様々な事業に取り組んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	連携中枢拠点都市、地方創生の商工部門を推進するうえで、商工会議所と連携することは必須。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	近隣市町の取り組みを参考に、新たな事業に着手する。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	0402020200	事業の種類	5
年度	26	事務事業名	産業活性化緊急支援補助事業	予算事業名	産業活性化緊急支援事業 優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る	担当課長	松本 秀文	担当者名
取組み事項		商業者による経営革新的な取り組みを支援する	実施計画への記載	有	主要事業の指定
実施計画事業名		住宅リフォーム助成事業			
根拠法規及び関連法規		相生市産業活性化緊急支援事業補助金交付要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民及び市内建築業者			
	誰(何)を対象として	市民の居住環境の向上に対する需要及びそれに対する市内建築業者の受注機会の拡大			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の居住環境の向上に資するとともに、市内の消費活動及び地域産業の活性化を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民が市内の施工業者を利用して住宅の修繕又は補修工事を行う場合、その経費の一部を補助する。 【補助金の額】補助対象経費の10%(最高限度額:10万円)				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	リフォーム助成件数	件	125	254	142	
	工事金額	円	151956831	289759774	180134011	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.024	0.032	133	0.376	1,175	0.360	96	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	492,312	563,314	114	3,271,781	581	3,101,994	95	
	事業費	9,516,000	18,940,000	199	9,948,000	53		0	
	合計	10,008,312	19,503,314	195	13,219,781	68	3,101,994	23	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,516,000	19,503,314	205	13,219,781	68	3,101,994	23	
合計	10,008,312	19,503,314	195	13,219,781	68	3,101,994	23		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	100	100	100.0	100	100.0		0.0	
	実績	125	254	203.2	142	55.9			
指標名2		工事金額							
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100000000	100000000	100.0	100000000	100.0	-	-	
	実績	151956831	289759774	190.7	180134011	62.2			

【効率性】

指標名1		助成金額に占める総工事費の割合							
指標説明(式)		総工事費÷助成金額							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
倍	目標	10	10	100.0	10	100.0	-	-	
	実績	15.97	15.3	95.8	18.1	118.3			

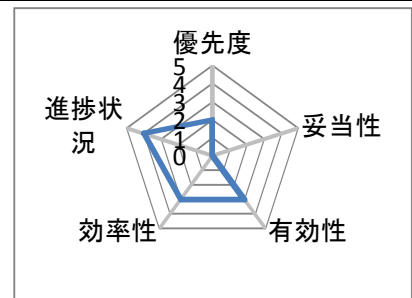
指標名2		助成1件当たりのコスト							
指標説明(式)		総事業費(事業費+人件費)÷助成件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	104923	105633	100.7	107418	101.7		0.0	
	実績	80066	76785	95.9	93097	121.2			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	住宅改修工事に対し補助金を交付することで市民の消費行動を活発にするとともに、商工業者の活性化を図りことは、市内の経済循環に繋がる。	3
	成果目標(改善)達成度	助成金額に対して総事業費が18倍であり、個人消費を促すうえで有効であった。	
効率性	負担割合の適正化	申請事務に係る負担を最小限に留め、利用しやすい施策に努めた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民に対し事業が周知されたため10月で予算額に達した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	事業の本来の目的は緊急経済対策であるため、期限を定めて事業を実施すべき。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	市民ニーズ、経済状況を鑑み、新たに事業を実施するのであれば全庁的に検討する。

配点	32.5
総合評価	14

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203010100	事業の種類	5
年度	26	事務事業名	観光協会推進事業	予算事業名	観光協会推進事業
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名
取組み事項	観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	観光関係団体への補助を通して、相生市の観光PR活動を促進していく			

2 事業の概要 Do

実施の概要	観光事業を実施する各種団体に負担金及び補助金を支出。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	観光客数	人	719946	714519	717691	750000
	観光協会会員数	個人・団体	257	273	260	280

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.244	0.268	110	0.292	109	0.316	108	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	2,191,592	2,377,446	108	2,620,949	110	2,760,642	105	
	事業費	1,600,000	12,399,550	775	2,950,000	24	2,950,000	100	
	合計	3,791,592	14,776,996	390	5,570,949	38	5,710,642	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,791,592	14,776,996	390	5,570,949	38	5,710,642	103	
合計	3,791,592	14,776,996	390	5,570,949	38	5,710,642	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		観光客数							
指標説明(式)		観光客数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	750000	750000	100.0	750000	100.0	750000	100.0	
	実績	719946	714519	99.2	717691	100.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		相生市観光協会員数							
指標説明(式)		会員数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
部	目標	270	270	100.0	280	103.7	280	100.0	
	実績	257	273	106.2	260	95.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
団体	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	観光協会の発信のSNSがに効果的な情報発信に機能している。	4
効率性	手段の最適性	市外の観光キャンペーンに積極的に参加した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	SNSによる情報発信を積極的に行った。	4

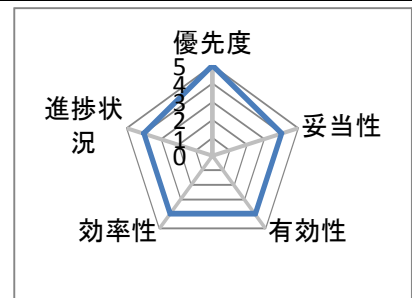
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	観光PRを推進するためには、人的、物的充実が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	より多くの会員を獲得するために、インセンティブの導入を検討する。



配点	32.5
総合評価	28

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203010200		事業の種類	5	
年度	26	事務事業名	観光費事務経費		予算事業名	観光費事務経費	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名	桑名 雅彦
取組み事項	観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客・観光協会員					
	誰(何)を対象として	市民・観光客・観光協会員観光協会員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市観光協会の円滑な運営と、相生市の観光PR活動の促進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市における観光事業の振興を図り、市民文化の高揚、産業発展に寄与する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	観光協会会員数	個人・団体	257	273	260	280	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.216	0.216	100	0.256	119	0.240	94	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,975,320	1,977,722	100	2,342,021	118	2,171,034	93	
	事業費	1,195,110	1,505,490	126	1,840,160	122	1,553,000	84	
	合計	3,170,430	3,483,212	110	4,182,181	120	3,724,034	89	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,170,430	3,483,212	110	4,182,181	120	3,724,034	89	
合計	3,170,430	3,483,212	110	4,182,181	120	3,724,034	89		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市観光協会会員数							
指標説明(式)		会員数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	270	270	100.0	280	103.7	280	100.0	
	実績	257	273	106.2	260	95.2			
指標名2		観光協会職員数(臨時)							
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			

【効率性】

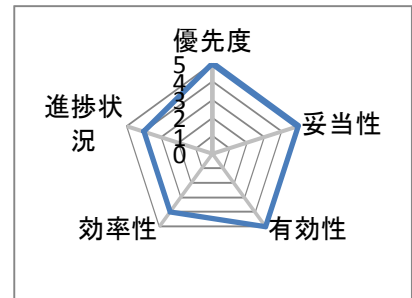
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	SNSを活用して市内飲食店など会員の最新情報を発信している。	5
効率性	手段の最適性	観光協会は会員会費と市の補助金で運営されており、効率的な運営に努めている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	スマートフォンアプリを導入し、情報発信と誘客に努めている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	観光PRを積極的に推進するためには、人的、物的充実が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	より効果的な観光PRに努める。

配点	32.5
総合評価	30.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203010400		事業の種類	3	
年度	26	事務事業名	観光PR推進事業		予算事業名		
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	桑名 雅彦	
取組み事項	観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)						

2 事業の概要 Do

実施の概要		デジタルコンテンツで観光PRを行うことで、より多くの方に情報発信が可能となる。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	ホームページアクセス数	件	70748	81715	90619	100000	
	ブログアクセス数	件	128010	100023	101450		

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.126	0.084	67	0.076	90	0.056	74	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,280,160	963,038	75	947,381	98	743,562	78	
	事業費	2,000,000		0		-		-	
	合計	3,280,160	963,038	29	947,381	98	743,562	78	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,280,160	963,038	29	947,381	98	743,562	78	
合計	3,280,160	963,038	29	947,381	98	743,562	78		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ホームページのアクセス数							
指標説明(式)		市内観光資源・店舗のPRに努めた。アクセス数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	100000	100.0	
	実績	70748	81715	115.5	90619	110.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		観光協会ブログアクセス数							
指標説明(式)		ホームページよりタイムリーな情報発信を図る。アクセス数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	100000	100000	100.0	105000	105.0	105000	100.0	
	実績	128010	100023	78.1	101450	101.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	観光協会のホームページを活用し、相生市の観光情報を随時更新していくことで、広く観光PRを行う。	5
効率性	執行体制の効率性	ホームページでフォローしきれない即時的な情報をSNSを活用してタイムリーに発信する。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	SNSの活用により、きめ細かい情報発信が可能となっている。	4

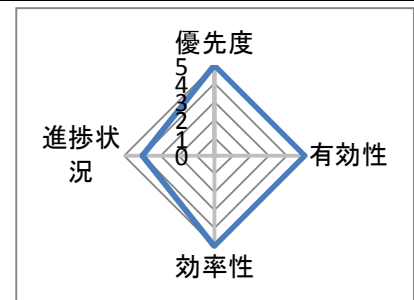
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	閲覧者のニーズに対応した情報の発掘と発信に努める。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	より多彩な情報の収集を可能とするシステムの構築を検討する。



配点	25
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020100		事業の種類	5		
年度	26	事務事業名	相生ペーロン祭事業		予算事業名	相生ペーロン祭事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	桑名 雅彦	
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		ペーロン新艇建造事業			ペーロン乗艇場整備			
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出するとともにペーロンを通じた地域の活性化を促進する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		最終日曜日と前日土曜日に、相生ペーロン祭を開催した。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	観光客	人	120000	120000	120000	120000
	ペーロン競漕参加チーム数	チーム	67	68	69	69

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.758	0.816	108	1.351	166	1.704	126	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	6,161,728	6,589,922	107	10,826,081	164	13,528,746	125	
	事業費	19,896,450	14,456,000	73	28,829,920	199	15,300,000	53	
	合計	26,058,178	21,045,922	81	39,656,001	188	28,828,746	73	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	26,058,178	21,045,922	81	39,656,001	188	28,828,746	73	
合計	26,058,178	21,045,922	81	39,656,001	188	28,828,746	73		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン祭観客数							
指標説明(式)		ペーロン祭の観客数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	120000	120000	100.0	120000	100.0	120000	100.0	
	実績	120000	120000	100.0	120000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

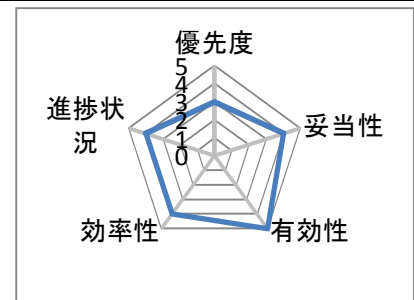
指標名1		ペーロン祭観客数の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/観客数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	150	280	186.7	330	117.9	240	72.7	
	実績	286	120	42.0	330	275.0			
指標名2		ペーロンアドバイザー設置							
指標説明(式)		ペーロンアドバイザー設置経費							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	1824	1826	100.1	-	-	-	-	
	実績	1826	456	25.0	-	-			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ペーロン祭を開催することで多くの観光客を相生市に誘致することができた。また、日本の祭りといった番組で取り上げていただくことで、全国に向けて相生市のPRをすることができた。	5
効率性	コストの節減	前夜祭有料駐車場の設置や、来場者へのペーロン祭募金を実施しているが、年々警備費用が増加している。	4
	手段の最適性	露店出店者に係る暴力団対策事務の洗練	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きなトラブルもなく、計画通り実施出来た。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	露店出店者事務を初めて実施した。概ね成功したが改善すべき点多々あった。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	露店出店方法について、明瞭かつ簡素化に努める。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020200	事業の種類	5
年度	26	事務事業名	羅漢の里もみじまつり事業	予算事業名	羅漢の里もみじまつり事業 優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		交流の活性化を推進する		担当者名	桑名 雅彦
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		11月第2日曜日に開催。矢野町瓜生の自然を利用したイベント。市民参加型のかがしコンテストやステージイベントや各種バザーなどを実施。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	観客数	人	2000	5500	5800	10000
	かがし出品数	体	1013	997	1062	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.552	0.688	125	0.500	73	0.564	113	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	4,570,584	5,605,986	123	4,232,533	76	4,684,626	111	
	事業費	2,500,000	2,000,000	80	2,000,000	100	2,000,000	100	
	合計	7,070,584	7,605,986	108	6,232,533	82	6,684,626	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,070,584	7,605,986	108	6,232,533	82	6,684,626	107	
合計	7,070,584	7,605,986	108	6,232,533	82	6,684,626	107		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		もみじまつり観客数							
指標説明(式)		もみじまつり当日(土日)の観客							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	10000	11500	115.0	10000	87.0	10000	100.0	
	実績	5000	5500	110.0	5800	105.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

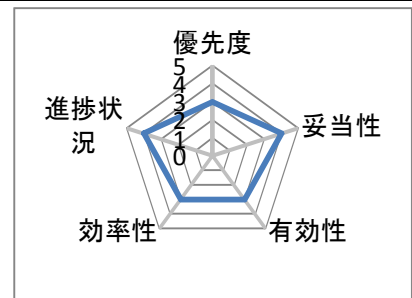
指標名1		もみじまつり観客数の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/観客数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	805	392	48.7	450	114.8	668	148.4	
	実績	1414	1382	97.7	1074	77.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	メイン開催日が雨に見舞われたため、メイン開催日の観客数が伸びなかった。	3
効率性	手段の最適性	大物芸能人頼みの集客から参加型ゲームを取り入れるなど、アットホームで趣向を凝らしたステージイベントに転換しコストを削減する。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	土曜の開催(バザー等の実施)がのんびりとした雰囲気イベントとして成立している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	協賛金が減少している現状をふまえ、根本的な路線変更を検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	企画のリニューアルについて実行委員会で提起・協議する。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020300		事業の種類	5		
年度	26	事務事業名	相生かきまつり補助事業		予算事業名	相生かきまつり事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る			担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平
取組み事項		交流の活性化を推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の特産である牡蠣を全国にPRしていくため、焼き牡蠣コーナーや各種バザー、ステージイベントを実施。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	観客数	人	18000	14000	20000	15000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.540	0.668	124	0.404	60	0.484	120	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	4,477,896	5,452,246	122	3,488,725	64	4,063,986	116	
	事業費	700,000	700,000	100	700,000	100	700,000	100	
	合計	5,177,896	6,152,246	119	4,188,725	68	4,763,986	114	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,177,896	6,152,246	119	4,188,725	68	4,763,986	114	
合計	5,177,896	6,152,246	119	4,188,725	68	4,763,986	114		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		かきまつり観客数							
指標説明(式)		かきまつり当日の観客数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	17000	18000	105.9	15000	83.3	15000	100.0	
	実績	18000	14000	77.8	20000	142.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		かきまつり来場者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/来場者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	358	122	34.1	133	109.0	100	75.2	
	実績	122	129	105.7	89	69.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生牡蠣をPRする目的で実施するイベントとしては十分に役割を果たしている。	4
効率性	執行体制の効率性	ブランドイメージを向上させる目的があるため、生産者主体で行うイベントに方向転換を図る必要がある。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	かきまつりを開催することで多くの人々に「相生牡蠣」のPRが出来た。	3

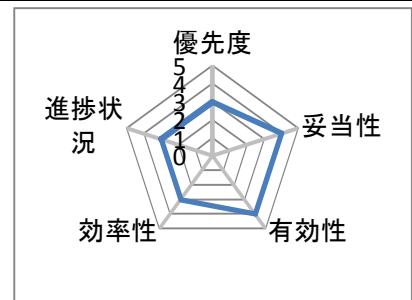
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	牡蠣が売り切れるタイミングが早すぎる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	遠方からの来場者のために、午後の販売の部を設けるなどの対策を行う必要がある。それにより、午前での人の集中も和らげることができる。



配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020400		事業の種類	5		
年度	26	事務事業名	相生ペーロン振興事業		予算事業名	相生ペーロン振興事業 優先度 4		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名	藤岡 周平
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		ペーロン文化の普及啓発と後継者育成のため市内小学生対象に体験乗船会を実施						
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画		
	体験乗船参加者数	人	1707	2341	2263	2000		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.080	0.100	125	0.208	208	0.240	115	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	924,856	1,086,030	117	1,970,117	181	2,171,034	110	
	事業費	600,000	600,000	100	600,000	100	600,000	100	
	合計	1,524,856	1,686,030	111	2,570,117	152	2,771,034	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,524,856	1,686,030	111	2,570,117	152	2,771,034	108	
合計	1,524,856	1,686,030	111	2,570,117	152	2,771,034	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		体験乗船参加者数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2000	2000	100.0	2000	100.0	2000	100.0	
	実績	1707	2341	137.1	2263	96.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

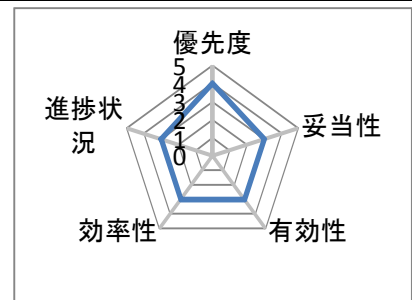
指標名1		体験乗船実施回数							
指標説明(式)		体験乗船実施回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	20	20	100.0	20	100.0		0.0	
	実績	13	19	146.2		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申込のあった体験乗船を全て安全に実施することができた。	3
効率性	手段の最適性	体験乗船に係る費用等は、艇使用料・指導料(スタッフ)・警備艇の経費であり、コストは適正と考える。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	申込のあった体験乗船を全てを実施することで出来、問い合わせも年々増加している	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	体験乗船にかかわる、協会スタッフの固定化、高齢化があり、市職員の担う部分が増えている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	ペーロン文化継承のために、新たな参加学校の掘り起しと同時に、執行体制の見直しとスタッフの育成を図る。

配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020500		事業の種類	5		
年度	26	事務事業名	相生名物創出事業		予算事業名	相生名物創出事業		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名	桑名 雅彦
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	地産地消を原点に相生の特産品(牡蠣、大根大ちゃん、ゆず、若狭野味噌、イチジク等)を活かした相生名物の料理を創出・研究し、観光客の誘致をはかり、まちを活性化することを目的と						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生の新たな名物料理を創造・研究してくれるメンバーを市民より募集し、商品化につなげる。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	会員数	人	12	12	12	-	
	活動回数	回	16	16	16	-	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.280	0.280	100	0.248	89		0	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	2,469,656	2,469,690	100	2,280,037	92	309,114	14	
	事業費	300,000	300,000	100	300,000	100		0	
	合計	2,769,656	2,769,690	100	2,580,037	93	309,114	12	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,769,656	2,769,690	100	2,580,037	93	309,114	12	
合計	2,769,656	2,769,690	100	2,580,037	93	309,114	12		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		会員数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	12	12	100.0	12	100.0		0.0	
	実績	12	12	100.0	12	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

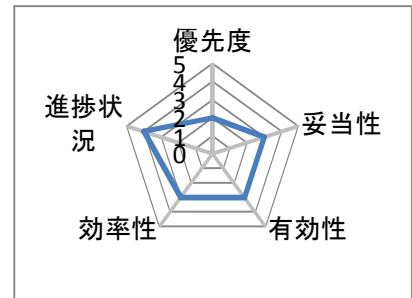
指標名1		相生うまいもん見つけ隊活動回数							
指標説明(式)		相生うまいもん見つけ隊活動回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	12	12	100.0	12	100.0		0.0	
	実績	16	16	100.0	16	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生の特産品を使用した「お焼き」を考案し、市内イベントで発表した。	3
効率性	手段の最適性	行政の枠にとらわれない、市民の自由な発想を求めている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	月1回の定例会を開き、年度方針を定めて活動を行っている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	事業開始から6年を経過し、事業の見直しを行う。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	平成26年をもって事業を終了する。

配点	32.5
総合評価	18.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020700		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	ペーロン海館管理事業		予算事業名	ペーロン海館管理事業 優先度 4	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	桑名 雅彦
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	ペーロン海館として、ペーロン船の格納場所としてだけでなく、ペーロン体験乗船を中心とするペーロン振興の拠点とすること。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ペーロン競漕で使用するペーロン船を格納するとともに展示し、観光客の見学を実施するとともに、ペーロン体験乗船の拠点としている。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	開館日	日	366	365	365	365	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.048	300	0.068	142	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	430,520	440,322	102	730,437	166	836,658	115	
	事業費	2,400,000	2,400,000	100	2,400,000	100	2,400,000	100	
	合計	2,830,520	2,840,322	100	3,130,437	110	3,236,658	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,830,520	2,840,322	100	3,130,437	110	3,236,658	103	
合計	2,830,520	2,840,322	100	3,130,437	110	3,236,658	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン海館の開館日数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
日	目標	366	365	99.7	365	100.0	365	100.0	
	実績	366	365	99.7	365	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

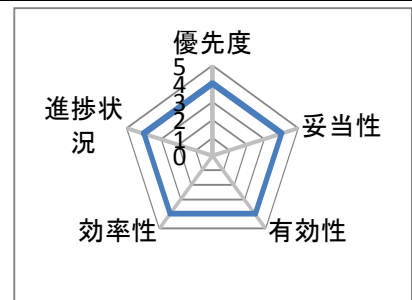
指標名1		管理委託料							
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
日	目標	2400000	2400000	100.0	2400000	100.0	2400000	100.0	
	実績	2400000	2400000	100.0	2400000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ペーロン競漕の練習、体験乗船、観光客の見学などで多くの人々が訪れている。	4
効率性	手段の最適性	指定管理者制度を導入し、効率的な管理に努めている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	指定管理者制度を導入し、契約に基づき適正に管理されている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	平成29年の新艇庫建設移転後の利活用を検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	社会情勢、近隣の施設を参考に三セクと協議を行う。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020800		事業の種類	2		
年度	26	事務事業名	道の駅管理運営事業		予算事業名	道の駅管理運営事業	優先度	4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る			担当課長		担当者名	
取組み事項		交流の活性化を推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		道の駅管理運営						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	道の駅で市民・観光客の交流をし、賑わいの場となる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		道の駅白龍城の管理運営を委託。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	道の駅管理委託料	円	3108000	3108000	3108000	3197000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.124	0.124	100	0.072	58	0.080	111	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,264,712	1,270,518	100	916,389	72	929,754	101	
	事業費	5,307,677	5,565,105	105	5,745,478	103	9,667,000	168	
	合計	6,572,389	6,835,623	104	6,661,867	97	10,596,754	159	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,572,389	6,835,623	104	6,661,867	97	10,596,754	159	
合計	6,572,389	6,835,623	104	6,661,867	97	10,596,754	159		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道の駅来場者数							
指標説明(式)		道の駅来場者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	400000	400000	100.0	400000	100.0	400000	100.0	
	実績	364615	367195	100.7	354548	96.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		道の駅来場者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		管理経費/来場者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	16.7	17	101.8	15	88.2	26	173.3	
	実績	18	15	83.3	19	126.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	適性に管理運営を実施できた。	3
効率性	コストの節減	消費税率の上昇により委託料が増額となった。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	維持管理委託契約に基づき適正に運営されている。	4

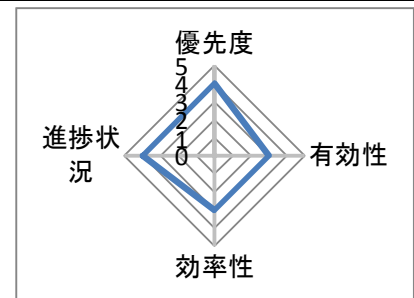
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	経年劣化により、計画的な改修を要する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	来場者のニーズに基づき、限られた費用の中で利便性、安全性を鑑み適正な管理を行う。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020900		事業の種類	6	
年度	26	事務事業名	ペーロン海館建設事業		予算事業名	ペーロン海館建設事業 優先度 4	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名 桑名 雅彦
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	有		主要事業の指定
実施計画事業名		新ペーロン艇庫建設設					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	ペーロン船の格納場所としてだけでなく、ペーロン船の利用を促進し・見学する観光客・市民の憩いの場、新たな観光拠点とすること。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生港臨海部活性化基本計画に基づき新ペーロン艇庫を建設し、ペーロンの振興、観光拠点の整備を図る。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.052	0.052	100	0.364	700	0.108	30	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	708,584	717,054	101	3,178,805	443	1,146,978	36	
	事業費	4,924,500	9,435,000	192	42,658,920	452	58,000,000	136	
	合計	5,633,084	10,152,054	180	45,837,725	452	59,146,978	129	
財源内訳	国庫支出金	2,462,250	4,698,750	191	20,681	0	29,000	140	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-	18,600	-	20,800	112	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,170,834	5,453,304	172	45,798,444	840	59,097,178	129	
合計	5,633,084	10,152,054	180	45,837,725	452	59,146,978	129		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		説明会の回数							
指標説明(式)		地元説明会の開催回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	—	2	-	1	50.0	2	200.0	
	実績	0	0	-	1	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		設計委託に係るコンサル活用							
指標説明(式)		打合せ回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	4	5	125.0	3	60.0	5	166.7	
	実績	7	5	71.4	1	20.0			

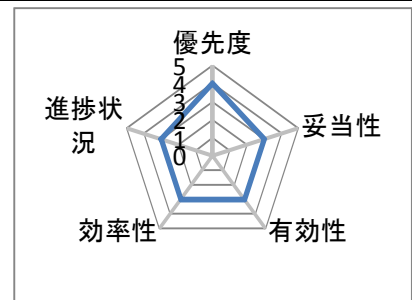
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	施設機能の充実を図り、相生の伝統文化であるペーロンの振興を図る。	3
効率性	手段の最適性	指名入札により、業者選定を行った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	乗艇施設の設置工事、揚艇施設の詳細設計を行った。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	地域住民、ペーロン協会と協議の実施



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	市民に愛される施設を目指し、地域住民、ペーロン協会と協議を行う。

配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203021000		事業の種類	1	
年度	26	事務事業名	第三セクター事業		予算事業名		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	横川 昌紀
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	白龍城等の利用者					
	誰(何)を対象として	第三セクター					
	意図(どのような状態にしたいのか)	健全経営の実現を求め、相生湾の観光・レクリエーションを促進し、にぎわいの場とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		健全経営の実現を求め、観光・レクリエーションを敷く新し、にぎわいの場の拠点とする。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	株式取得		-	-	-	-	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.024	0.036	150	0.016	44	0.012	75	
	臨時職員	0.004	0.004	100	0.000	0		-	
支出内訳	人件費	501,924	603,826	120	482,501	80	402,210	83	
	事業費			-		-		-	
	合計	501,924	603,826	120	482,501	80	402,210	83	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	501,924	603,826	120	482,501	80	402,210	83	
合計	501,924	603,826	120	482,501	80	402,210	83		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン城入場者数							
指標説明(式)		ペーロン城(温泉・飲食・物販)への入場者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	400,000	400,000	100.0	400,000	100.0	400,000	100.0	
	実績	356,804	350,307	98.2	354,548	101.2			
指標名2		取締役会等への出席回数							
指標説明(式)		あいおいアクアポリス(株)の取締役として相生市が出席した回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			

【効率性】

指標名1		入場者数等の報告回数							
指標説明(式)		温泉、飲食、物販に対する入場者数、売上額などの報告回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	12	12	100.0	12	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	前年度と比較すると入場者数は増加しているが、類似施設との競争もあるので独自の取り組みが必要である。	3
	市民サービス	道の駅でもあり観光客が立ちよることで、市外からの交流人口としての増となっているだけでなく、通常時においても物販コーナーなど市民のにぎわいの場ともなっている。	
効率性	手段の最適性	相生湾臨海部のにぎわいの場の創出手段としては交流人口集客施設として必要である。	3
	負担割合の適正化	相生市は、株主であるが、損失補償等を行っていない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	道の駅、海の駅としてにぎわいの拠点としているが、目標の約89%の入場者となっている。	3

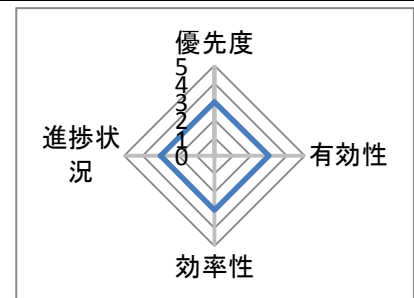
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	市有であるペーロン海館部分の移転後の利活用を検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	ペーロン城と一体となって利用促進となる方策を検討する。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203030100	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	ふるさと交流館管理事業	予算事業名	ふるさと交流館管理事業 優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		レクリエーション施設の整備とネットワークづくりを行う		担当者名	根津 恭平
実施計画事業名		ふるさと交流館管理事業		実施計画への記載	有
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	地域住民及び国民			
	誰(何)を対象として	地域住民及び国民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	自然環境、歴史学習、農林業体験等を通じて、市民の自主的な学習活動と多様な交流の促進及び教養、文化の高揚並びに地域の農業振興を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ふるさと交流館において、田植え体験や芋掘り体験などの色々な活動を行うことにより、都市と農村の交流を図ることにより、地域の活性化を図る。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	交流館利用者数	人	7829	6604	6452	11000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.116	0.100	86	0.092	92	0.104	113	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,202,920	1,086,030	90	1,071,349	99	1,115,946	104	
	事業費	8,826,175	9,283,870	105	10,409,672	112	8,550,000	82	
	合計	10,029,095	10,369,900	103	11,481,021	111	9,665,946	84	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	10,029,095	10,369,900	103	11,481,021	111	9,665,946	84	
合計	10,029,095	10,369,900	103	11,481,021	111	9,665,946	84		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		会館利用者数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	11000	11000	100.0	11000	100.0	11000	100.0	
	実績	7829	6604	84.4	6452	97.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

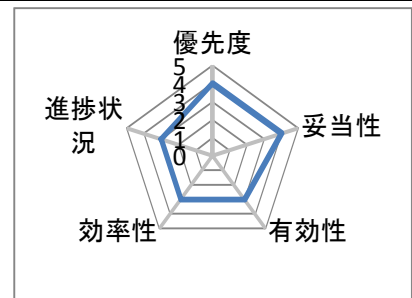
指標名1		来場者一人あたりの経費							
指標説明(式)		管理経費/会館利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	900	900	100.0	900	100.0		0.0	
	実績	932	1105	118.6	1531	138.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	毎月色々なイベントを行っているが、内容が大きく変わらないため利用者減となっており、今後利用者増に向け事業展開をする必要がある。	3
	市民サービス	地元野菜を利用した夕食は好評であり、利用者の意見を反映するためアンケートも行っている。	
効率性	コストの節減	長期利用を考えても利用率を上げコスト削減を行う必要がある。	3
	執行体制の効率性	指定管理者のより一層の努力を必要とする。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画よりやや遅れている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	利用率を上げるためにも更なるPRの必要がある



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	長期利用を考えても利用率を上げコスト削減を行う必要がある

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203030200	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	羅漢の里管理事業	予算事業名	羅漢の里管理事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	竹本 頼高 担当者名 長治 宏幸
取組み事項		レクリエーション施設の整備とネットワークづくりを行う		実施計画への記載	有 主要事業の指定 無
実施計画事業名		羅漢の里整備事業			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	羅漢の里の施設			
	意図(どのような状態にしたいのか)	羅漢の里を整備、管理し、憩いと安らぎの場の提供とともに、観光の振興に寄与する施設とする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		羅漢の里の施設管理及び委託業務				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	利用者数(市民)	人	4549	4203	4625	5000
	利用者数(市外)	人	16576	17245	15583	17000
	整備箇所	箇所	4	6	4	5
	整備事業費	円	2978950	3241350	5779400	6000000

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.420	0.420	100	0.412	98	0.432	105	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	3,551,016	3,545,870	100	3,550,709	100	3,660,570	103	
	事業費	4,854,650	4,898,020	101	8,077,948	165	7,250,000	90	
	合計	8,405,666	8,443,890	100	11,628,657	138	10,910,570	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,405,666	8,443,890	100	11,628,657	138	10,910,570	94	
合計	8,405,666	8,443,890	100	11,628,657	138	10,910,570	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用者数							
指標説明(式)		コテージ、テント村利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	21000	22000	104.8	22000	100.0	22000	100.0	
	実績	21125	21448	101.5	20208	94.2			
指標名2		稼働率(コテージ)							
指標説明(式)		年間利用件数÷365日×10棟							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	22	22	100.0	22	100.0	22	100.0	
	実績	25.5	25.2	98.8	24.8	98.4			

【効率性】

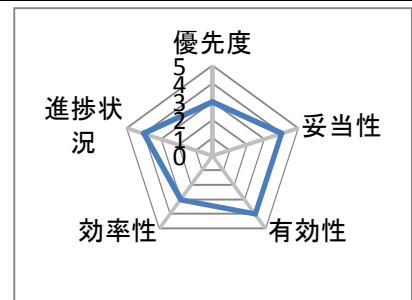
指標名1		利用者1人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費 ÷ 利用者							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	439	439	100.0	545	124.1	496	91.0	
	実績	398	394	99.0	575	145.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	指定管理者による自主事業が実施されることにより、更なる市民サービスの向上へと繋がっている。 また、コテージ等老朽化に伴う修繕について、適宜迅速に対応出来た。	4
	成果目標(改善)達成度	利用者数は、台風の影響で微減である。	
効率性	コストの節減	平成26年度より、管理コスト等を考慮し引き続き指定管理者を更新しており、コストの節減は図られている。	3
	手段の最適性	指定管理者制度によるサービス低下もなく、効率的な管理運営がされているため、引き続き指定管理者制度による運営を行う。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	コテージ等の老朽化が進んでおり、順次改修を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	改修に関して、施工方法等を検討し、改修順位付けを行い、順次改修を行う。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040204010100	事業の種類	5
年度	26	事務事業名	匠の技(造船技術)継承事業	予算事業名	匠の技(造船技術)継承事業
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)	地域に根ざした工業の強化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名
取組み事項	地域ものづくり基盤の強化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	造船関連企業従業員			
	誰(何)を対象として	造船関連企業従業員が必要とする高度な技術の習得			
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の基幹産業である造船業を支えてきた団塊の世代が培ってきた貴重な経験や高い技術が、退職を機に失われることのないよう、新たな世代に継承する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	相生技能研修センターが実施する造船技術継承を目的とした専門技能研修への補助					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	研修受講者数(延べ)	人	155	245	225	230
	受講企業数(延べ)	社	52	62	55	55

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.012	0.012	100	0.028	233	0.020	71	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	399,624	409,574	102	575,477	141	464,274	81	
	事業費	200,000	200,000	100	200,000	100	200,000	100	
	合計	599,624	609,574	102	775,477	127	664,274	86	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	599,624	609,574	102	775,477	127	664,274	86	
合計	599,624	609,574	102	775,477	127	664,274	86		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生技能研修センター研修受講者数							
指標説明(式)		研修受講者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	52	298	573.1	296	99.3	297	100.3	
	実績	155	245	158.1	225	91.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		受講者一人当りに補助金							
指標説明(式)		総事業費÷総受講者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	3846	671	17.4	675	100.6	673	99.7	
	実績	1290	816	63.3	889	108.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	造船技能の継承は、相生の基幹産業を担うためには不可欠である。	4
効率性	負担割合の適正化	事業経費に占める県・市補助金の割合は、県9.3%、市3.1%である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	会員企業のほか、会員以外の関連企業からも受講者を募り、技能の継承に積極的に取り組んでいる。	3

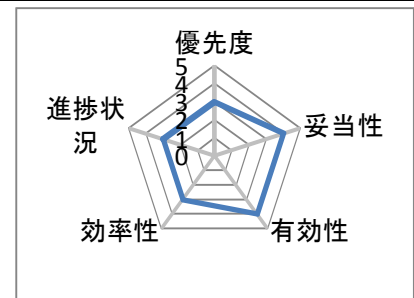
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	受講生が減少した。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	基幹産業の技術の継承を継続して行っていく。



配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	040204020100	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	中小企業小額資金融資事業
予算事業名	中小企業小額資金融資事業	優先度	5
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)	地域に根ざした工業の強化を図る	担当課長	松本 秀文
		担当者名	藤岡 周平
取組み事項	中小企業の経営改善強化に向けた支援をする	実施計画への記載	無
		主要事業の指定	無
実施計画事業名			
根拠法規及び関連法規	相生市中小企業小額資金融資要綱 相生市中小企業小額資金融資保証料補助金交付要綱		
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の中小企業者	
	誰(何)を対象として	市内に事業所又は営業所を有する中小企業者のうち市税を完納し、原則として同一事業を1年以上引続き営んでいる者で、相生市中小企業小額資金融資を受けた事業者	
	意図(どのような状態にしたいのか)	信用保証手数料を補給することにより借手中小企業者の借入負担を軽減し、当該融資を活発化し、売上減少による影響及び倒産の防止を図る。	

2 事業の概要 Do

実施の概要	①市制度融資事務 保証契約事務(信用保証協会)、金融機関との覚書の締結(指定金融機関)、融資申込み受付、融資依頼 ②利子補給事務 保証期間5年以内、保証金額1,000万円を限度に算出した保証協会の保証料を15万円(5年間で1回の申請のみ)を限度として、補助					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	融資総額	千円	18000	38850	94300	100000
	保証料補助額	円	138224	481637	707182	950000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.184	0.184	100	0.100	54	0.092	92	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,728,152	1,731,738	100	1,133,333	65	1,022,850	90	
	事業費	184,435	481,637	261	1,224,282	254	1,000,000	82	
	合計	1,912,587	2,213,375	116	2,357,615	107	2,022,850	86	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,912,587	2,213,375	116	2,357,615	107	2,022,850	86	
合計	1,912,587	2,213,375	116	2,357,615	107	2,022,850	86		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	市制度融資件数								
指標説明(式)	件数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	3	8	266.7	17	212.5			
指標名2	保証料補助件数								
指標説明(式)	件数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	20	100.0	20	100.0	7	35.0	
	実績	3	6	200.0	7	116.7			

【効率性】

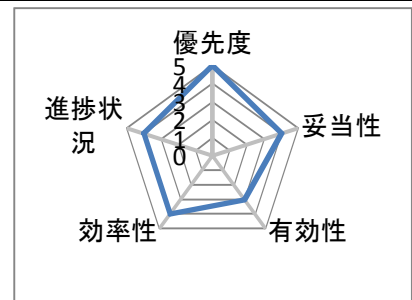
指標名1		1件当たりの保証料補助額							
指標説明(式)		保証料補助額/保証件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	125000	75000	60.0	125000	166.7	135710	108.6	
	実績	46074	80272	174.2	101026	125.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	計画通りに件数、補助額ともに実施できた。	3
	市民サービス	市内の経済活性化は市行政に直結し、市民生活の向上に繋がる。	
効率性	手段の最適性	市内金融機関で融資利率を統一している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	昨年に比べると、融資額が増加している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	景気の回復基調により、融資実行が予想を超える伸びとなった。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	融資額が増えるため、補助金の増加が必要となる。

配点	32.5
総合評価	27